学校番号	119

令和２年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新編「書道Ⅱ」　（教育出版）						
副教材等	硬筆レッスン帳　（教育図書）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・芸術科書道では用具用材の特長や性質の違いを理解し、その表現の違いを学んだ上で、自分の求める表現方法を探ります。書きたい自分の「言葉」を見つけることも大切です。
・書線の魅力を知り、筆の弾力を使いこなし、生命力あふれる作品を作ることをめざします。
・古典を「見る・観る」力を養い、行書や仮名の筆意・筆脈を体感し、篆書隷書草書と書体史を学び、『古典』の臨書を通して書体や書風の違いを理解し鑑賞する力を高めます。
・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の中で書の文字や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 レポート ワークシート	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート 提出作品	観察 レポート ワークシート 提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

月	題材名	学習内容・活動	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4	仮名 （変体仮名・連綿）	・淡墨によるひらがな連綿 ・漢字仮名交じりの書（ひらがなの連綿と変体仮名による表現） ・仮名しおり作成、元気が出る言葉（5～9文字）	○	○			a：平仮名の筆遣いを確認し、変体仮名を交えて連綿を取り入れ仮名の美を表現している。 b：墨色を工夫し、積極的に表現技法を高めようとしている。 流動美と余白を表現している。	観察 レポート ワークシート 提出作品
5 6	漢字の書 （篆書・隷書） 書体史を遡る 篆刻	・五書体の学習 ・篆書（甲骨文・金文） ・隷書（古隷・八分） ・白文7分、2字以上 ・漢字一字作品制作 ・・相互鑑賞会	○	○		○	a 文字の成り立ちに興味を持ち、代表的な五書体の古典を知り、そのよさや美しさを味わっている。篆刻における分間布白を理解し、表現を工夫している。 ・逆筆と順筆、筆の弾力を利用する用筆方法を身に付け表している。 b：各書体の基本的な用筆方法を理解し、表現を工夫している。 d：相互批評し鑑賞する。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
6 7	阿武高祭ポスター題字作成 確認テスト	・隷書と篆書 （装飾的な文字と構成を考える） ・ひらがなの字源 ・五書体の確認	○	○		○	a：隷書や篆書の特徴や用筆法を身に付け、その特徴を活かした作品制作に主体的に取り組もうとしている。 b：効果的な文字の配置や構成を考え表現を工夫している。 d：字源を意識したひらがなを書く。 ・漢字の書体史を学び、五書体の特徴と書体を理解している。	観察 ワークシート 提出作品 確認テスト
8	鑑賞指導	・書道展や美術展を鑑賞しレポートを書く	○			○	a：表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 d：展覧会を鑑賞しレポートを書く	レポート ワークシート

9 10 11	漢字の書（草書と行書） 漢字仮名交じり文（詩文書の制作）	・書譜 ・風信帖 ・詩文書を書く 自分が決めた言葉を効果的に表現する。	○	○	○	○	a：言葉や文字の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている b：草書の筆遣いと動きやリズム感を理解する。 d：『風信帖』を全臨し折帖に仕上げる。互いの作品を鑑賞し、草書を理解する。 c：墨染めやぼかしなどの技法を使い効果的な装飾紙を作る。	観察 提出作品
12	はがき・封筒の宛名を書く 版書	・年賀状の作成 ・四字熟語を選び、刻書に作品制作 語句の選定 文字調べ 草稿作成	○	○			a：はがきや封筒の宛名書きの基本的な書き方を理解する。 b：四字熟語を選び、版書にする。書体を決め、草稿を作成、時間をかけて丁寧に取り組む。	観察 レポート ワークシート 提出作品
1 2 3	版書・パネルに表装する（作品発表） 書のMYカレンダー作成	・版書(摺りと表装) ・自分の作品について工夫した点やポイントを書く ・相互批評会 ・4月はじまりのカレンダーに6作品を制作して表装する。 版書・俳句・ことわざ・一字書・短歌・詩文	○	○		○	a：文章の作成、草稿・摺りに工夫し、試行錯誤し、完成に至る創作活動について関心をもち、積極的に表現技法を高めようとしている。 b：配置を工夫してパネルに貼っている。 d：版書作品の配置を考えてパネルに貼り、相互評価する。 c：表現効果を工夫して作品を貼る。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

※　表中の観点について　a：書への関心・意欲・態度　　b：書表現の構想と工夫
c：創造的な書表現の技能　　d：鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。